



NEWS LETTER vol. 23

これからの地方自治・地方政策を考える

連続自治体特別企画セミナー

報告 第5回セミナー



鈴木真人氏（日経研） 藻谷浩介氏 藻谷氏の講演の様子

去る1月28日（木）、今年度最後となる第5回連続自治体特別企画セミナー（KPIセミナー）を本学で開催し、100人を超える来場を頂きました。

講師は全国約3,000の地域を自費で巡られ、『デフレの正体』『里山資本主義』などの著作がある日本総研主席研究員の藻谷浩介氏、京都府北部の地域創生を代表して中山泰京丹後市長、南丹地域の地域創生を代表して佐々木稔納南丹市長、山城地域の地域創生を代表して堀忠雄和束町長の4名をお招きしました。

テーマは「京都の地域創生、日本の地方創生」。前半は藻谷氏から全国、とりわけ京都を中心に統計データを用いての明快な現状分析と問題提起があり、少子化にせよ、高齢化にせよ、いかに思い込み（「バカの壁」）が多いか、また怖いか、逆に言えば、当たり前と言え当たり前ですが、いかに客観的な事実、すなわちファクトやエビデンスを押さえて議論する必要があるかについて再考させられました。なお、藻谷氏の講演データは、KPIのHP（http://www.kpu.ac.jp/contents_detail.php?co=tpc&frmId=4860）にアップされていますので、ぜひご参照ください。



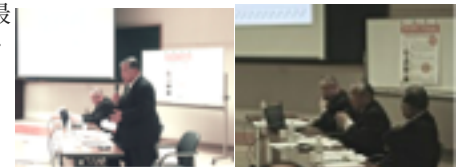
中山京丹後市長 佐々木南丹市長

続いて後半は共催団体である株式会社日本経済研究所社会インフラ本部部長の鈴木真人氏のコーディネートの下、中山京丹後市長、佐々木南丹市長、堀和束町長それぞれの地域創生の取り組み報告とその報告に対する藻谷氏のコメントがありました。どの取り組みもまさに3者3様の地域創生であり刺激的でした。3人の唯一の共通点は首長のリーダーシップの重要性ということでしょうか。当然、住民起点のボトムアップの視点が地域創生で重要なことは言うまでもありません。しかし、今回のまち・ひと・しごと創生は総合的かつ長期の戦略だけに、トップのビジョンは必要不可欠になります。

その意味でまさに、「海」の京都、「森」の京都、「お茶」の京都、それぞれを代表する自治体のトップの地域創生ビジョンをかいま見れ、また藻谷氏から客観的な京都のポジションを知ることが出来たのは収穫大でした。

今年度のKPIセミナーは以上でしまいにありますが、KPIの「地域創生」シリーズとして、年度最後に恒例のブックレットvol.4で『地域創生の最前線』（公人の友社）にまとめます。こちらも乞うご期待ください。

（企画調整MGR 杉岡）



堀和束町長

講演の様子

今年度のセミナー終了！

今年度の連続自治体特別企画セミナー参加者は、延べ519名にご参加頂きました。ご来場頂きましたみなさま、ありがとうございました。



連続自治体特別企画セミナー （KPIセミナーに名称変更を検討中） 年間計画

＊＊COMING SOON＊＊

次年度も原則木曜日開催を予定しております。

詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご連絡いたします。

後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。

ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学
京都政策研究センター

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 Tel &

Fax : 075-703-5319 mail :

kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

今回のニュースレターは久御山町役場の安岡さんと山城広域振興局の河野さんに寄稿頂きました！

受託事業

AR版「くみやま てくてくクロスマップ」が完成します！

昨年度、大学と連携して作り上げたマップをバージョンアップさせました。スマートフォン等を写真にかざすと動画が流れる、AR（拡張現実）という機能を導入。動画制作は、久御山町出身で映画監督の清水浩氏に監修をお願いし、出来上がった映像はARコンテンツとしてだけでなく、編集してイオンシネマ久御山でCMとして年間上映しています。大学には、企画から映像制作、新版マップ完成までアドバイザーに就いていただくなど、素晴らしい産官学連携が叶ったと考えています。

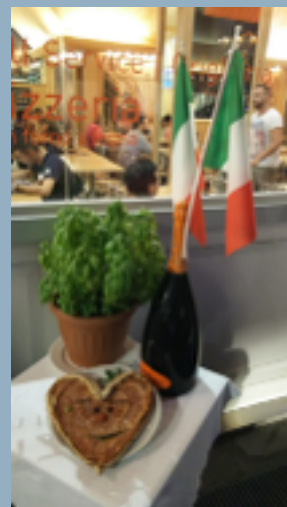
ARコンテンツは、久御山ジャンクションや巨椋池干拓田など、マップのテーマである「くみやま てくてく」ものを中心に7か所。新版マップは3月下旬から、町内公共施設や京都総合観光案内所などで配架を予定しております。より多くの方々の目に触れ、久御山町に興味を持っていただけるよう、期待しております。

（久御山町役場 事業建設部産業課 安岡あずさ）



KPIリレーコラム

今回は、久御山町役場産業課の安岡あずさんが登場です！



久御山町役場産業課

安岡 あずさ

昨年9月、「ピザを食べに」イタリア・ミラノへ行ってきました。「ついでに」、レオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晚餐』を見てきました。「高いピザになったね」と言われますが、私にとって旅は目的を達する手段。そこに叶えたい夢があり、実現したい目標があるなら、苦勞であっても楽しめます。乗ってみたかった飛行機に乗り、青山先生に教えてもらったお店で美味しいピザとパスタを食し、イタリアの高速列車に乗りたいためにミラノ～ローマ間を日帰りで往復。端から見れば無駄遣いでしょうが、私にとっては夢が叶った贅沢なひととき。達成感も一入です。

同じように、仕事も私にとって「旅」。日々の小さな達成の積み重ねが、大きな実績となって目標が実現していきます。猪突猛進で周りが見えていないところもあると自覚していますが、今、目の前にあることを全力で取り組む情熱は失わずにいたいと思います。

飛行機の工場見学のためにアメリカへ行ったことも、『くみやま てくてくクロスマップ』にAR機能を導入したことも、過去に私が「旅」で達成したこと。プライベートも仕事も充実させ、（身体は疲れることがあっても）相乗効果で常に心に活力がある日々を送ることが私の大きな「目標」です。

ACTR 大山崎オープンワークショップ

昨年5月から、「大山崎町の歴史と文化を活用した観光振興とそれによる商業振興・町の活性化」を目的とし調査に取り組んできました。

調査では、実際に町の観光スポットを巡り、大山崎町は内外に積極的に発信すべき観光資源が多くある町であると実感しました。また、町が実施した住民意識調査を観光の視点から分析することで、町の観光における課題も見えてきました。

さらに、去る10月20日に、事例調査として大分県日田市と長崎歴史文化博物館を訪れました。日田市は、大山崎町と同じ「豊かな水資源」を有し、

それを活かした観光振興に取り組み、長崎県は、博物館が歴史を伝える観光名所としての存在となっていました。ともに、歴史や資源の「見せ方」に工夫を凝らすことで観光客の呼び込みに成功しており、大山崎町の観光へ活かす良い事例を学ぶことができました。今後、これらの調査を踏まえ、町の目指す観光振興につながる提案をしたいと考えています。



大山崎山荘美術館



サントリービール工場

山城広域振興局 農林商工部企画調整室 河野志織）

ACTR 舞鶴 ～舞鶴市ACTRの取組～

昨年度に引き続き、今年度は「舞鶴市における今後の地域コミュニティのあり方に関する調査・研究～市民サービスとしての廃棄物施策の見直しを通して～」をテーマに取り組んできました。ごみの収集現場を見せていただいたり、関係者へのヒアリングも行ってきましたが、締めくくりとして市民アンケートを実施中です。

今後、3月中にはアンケートの集計結果を速報としてとりまとめるとともに、4月以降詳細な分析に取り組むと考えています。なお、アンケートの概要は次のとおりです。

○対象：舞鶴市民2000人（20歳以上の在住者から無作為抽出）

○内容：ごみ収集の方法や立ち番、集積所の管理及び高齢者のごみ出し支援に関する市民意識調査